

令和8年度科学研究費助成事業 学内応募要領

〔ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI〕

※最初に、日本学術振興会 科学研究費助成事業 ホームページ 公募情報ページに掲載されている「公募要領」等を必ず熟読してください。(https://www.jsps.go.jp/j-hirameki/boshu.html)

※「科研費電子申請システム (=e-Rad)」のログイン用ID・パスワードが不明の方は、研究・連携推進課研究協力係(以下、研究協力係)へご連絡ください。

1. 対象

ひらめき☆ときめきサイエンスは、以下に掲げる点を目的として、学術が持つ意義や学術と日常生活との関わりに対する理解を深める機会を社会に提供することを趣旨とするものです。

- ・我が国の将来を担う児童・生徒を対象として、若者の科学的な好奇心を直に刺激してひらめき、ときめく心の豊かさや知的創造性を育むこと
- ・科研費による研究について、その中に含まれる科学の興味深さや面白さを分かりやすい形で直に伝えること
- ・以上を踏まえ、学術の文化的価値及び社会的重要性を社会・国民に示し、学術の振興を図ること

本公募においては、上記の趣旨・目的を踏まえるとともに、次の項目を全て満たすプログラムを対象とします。

- ① 科研費による研究に関わる基礎的な内容をより分かりやすく伝え、科学に興味深さや面白さを体感できるようなプログラムであること。
- ② 小学5・6年生、中学生及び高校生のいずれかが対象であること(対象が重複しても構いません)。
- ③ 実施代表者(「2. 応募資格等」参照)の所属する研究機関が主催するプログラムであること(学協会や自治体等、実施代表者の所属する研究機関とは別の組織が主催する行事の一部として実施するプログラムは対象としません)。

2. 応募資格等

実施代表者:e-Radに「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されている研究者のうち、過去又は令和7(2025)年度に継続中の科研費の研究課題の研究代表者として研究を実施したことがある研究者

3. 計画調書等の学内提出方法・期限について

(1) 「計画調書(PDFファイル)」の作成

提出期限:令和7年8月18日(月)

- ① 日本学術振興会 科学研究費助成事業 ホームページ 公募情報ページから「計画調書(添付ファイル項目)S-53」様式をダウンロードのうえ作成する。
(https://www.jsps.go.jp/j-hirameki/boshu.html)
- ② 科研費電子申請システムの「研究者ログイン」からログインして「Web入力項目」を入力する。
(https://www.shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html)
- ③ ①で作成した「添付ファイル項目(Word)」を科研費電子申請システムにアップロードして「研究計画調書(PDFファイル)」を作成する。

この時点で科研費電子申請システム上の「確認完了・提出」処理は行わないでください。

※アップロード時にPDF変換される際にレイアウトが変わり、ページ数超過のエラーが発生する場合があります。その場合は「添付ファイル項目」をPDFファイル形式にした上でアップロードしてください。

- ④ ③で作成した「計画調書(PDFファイル)」をメールにて研究協力係へ提出する(メールアドレス

スは本紙末尾に記載)。

システム上で提出されただけでは受け付けません。必ずメールによる提出をお願いします。

(2) 科研費電子申請システムによる「確認完了・提出」

期限：令和7年9月8日(月)

研究協力係での確認作業後、修正の有無及び「確認完了・提出」処理の可否についてご連絡します。その連絡を受けた後「確認完了・提出」処理を行ってください。

4. 研究倫理教育の受講について

「実施代表者」は交付申請前までに、所属機関が定めた研究倫理教育を受講することが義務付けられています。本学では、5年に一度の受講を義務付けており、「研究倫理教育 APRIN (エイプリン) e-ラーニングプログラムの受講について」(令和7年5月20日付け学芸ポータルお知らせ)がこれにあたります。したがって、上記プログラムを受講された方は、受講が完了している状態です。上記プログラムを未受講の方(名誉教授、定年退職教員、個人研究員、JSPS特別研究員を含む)は、交付申請前までに受講する必要があります。受講方法等については、令和8年3月下旬の審査結果通知後にご案内する予定です。

5. 令和8年度公募における主な変更点について

別紙 <令和8(2026)年度における主な変更点等> をご参照ください。

6. 科研費公募要領等に関する学内説明会について

「東京学芸大学科学研究費 Web」に資料を掲載しますので、ご参照ください。

(<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~gakugai/h21top/index.html>)

「学芸ポータルトップ>リンク>研究関連情報」からもご覧いただけます。

[担当]

研究・連携推進課 研究協力係

Mail : kakenhi (a) u-gakugei. ac. jp ((a)→@)

＜令和 8 (2026) 年度公募における主な変更点等＞

(1) 公募スケジュールについて

○令和 7 (2025) 年度に公募を実施する令和 8 (2026) 年度科研費（「研究活動スタート支援」及び「国際共同研究加速基金」については令和 7 (2025) 年度科研費）の今後の主な公募スケジュールについては、以下を予定しています。また、「海外連携研究」については、令和 7 (2025) 年度採択分以降、公募は行いません。

令和 8 (2026) 年度科研費公募スケジュール（予定）（※1）

| 研究種目名（※2） | 公募開始 | 公募締切 | 審査結果通知（※3） | 交付内定（※4） |
|-------------------|-----------------|-----------------|---------------------------------------|--------------|
| 特別推進研究 | 令和 7 年 4 月 11 日 | 令和 7 年 6 月 17 日 | 令和 8 年 1 月上旬 | 令和 8 年 4 月上旬 |
| 基盤研究（S） | 令和 7 年 4 月 11 日 | 令和 7 年 6 月 17 日 | 令和 8 年 2 月中旬 | 令和 8 年 4 月上旬 |
| 学術変革領域研究（A・B） | 令和 7 年 4 月 11 日 | 令和 7 年 6 月 17 日 | 令和 8 年 2 月中旬 | 令和 8 年 4 月上旬 |
| 学術変革領域研究（A）（公募研究） | 令和 7 年 7 月 14 日 | 令和 7 年 9 月 17 日 | 令和 8 年 2 月中旬 | 令和 8 年 4 月上旬 |
| 基盤研究（A・B・C）、若手研究 | 令和 7 年 7 月 14 日 | 令和 7 年 9 月 17 日 | 令和 8 年 2 月 27 日 | 令和 8 年 4 月上旬 |
| 挑戦的研究（開拓・萌芽） | 令和 7 年 7 月 14 日 | 令和 7 年 9 月 17 日 | 令和 8 年 6 月 30 日 (令和 8 年 2 月下旬（※5）) | 令和 8 年 6 月下旬 |
| 奨励研究 | 令和 7 年 7 月 14 日 | 令和 7 年 9 月 17 日 | 令和 8 年 1 月 30 日 | 令和 8 年 4 月上旬 |
| 研究成果公開促進費 | 令和 7 年 7 月 14 日 | 令和 7 年 9 月 17 日 | 令和 8 年 3 月下旬 | 令和 8 年 4 月上旬 |

令和 7 (2025) 年度科研費公募スケジュール（予定）（※1）

| 研究種目名（※2） | 公募開始 | 公募締切 | 審査結果通知（※3） | 交付内定（※4, 6） |
|------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 研究活動スタート支援 | 令和 7 年 3 月 1 日 | 令和 7 年 5 月 8 日 | 令和 7 年 7 月 31 日 | 令和 7 年 7 月下旬 |
| 国際先導研究 | 令和 7 年 1 月 9 日 | 令和 7 年 3 月 14 日 | 令和 7 年 11 月下旬 | 令和 7 年 11 月下旬 |
| 国際共同研究強化 | 令和 7 年 7 月 14 日 | 令和 7 年 9 月 17 日 | 令和 8 年 2 月下旬 | 令和 8 年 2 月下旬 |
| 帰国発展研究 | 令和 7 年 7 月 14 日 | 令和 7 年 9 月 17 日 | 令和 8 年 2 月下旬 | 令和 8 年 2 月下旬 |
| 海外連携研究 | 公募停止（令和 7 年度採択分以降、公募は行いません） | | | |

- ※1 いずれも新規応募課題についての日程です。
- ※2 上記以外の研究種目の日程については、各公募要領等を御確認ください。
- ※3 新規応募課題の採否について交付内定前又は交付内定と同日に研究代表者に科研費電子申請システムを通じて通知します。
なお、審査結果通知を受け取り「採択」とされた場合、研究開始の事前の準備は可能となりますが、必要な契約等は従前どおり交付内定後に行ってください。
- ※4 予算成立の状況等によっては、交付内定時期が変更されることがあります。
- ※5 括弧内は「事前の選考」の審査結果通知の時期です。
- ※6 帰国発展研究については、「条件付き交付内定」を行います。

(2) 「国際情報発信強化（オープンアクセス刊行支援）」の応募区分の変更について

- 利用者が対価を支払うことなく研究成果を利用することができる刊行形態を支援する「国際情報発信強化（オープンアクセス刊行支援）」については、令和8(2026)年度公募より「国際情報発信強化（A）」において応募を受け付けます。（公募要領「Ⅱ. 公募の内容 2. 各種目の内容 ②国際情報発信強化 (3) 応募区分及び応募総額」参照）

(3) 「データベース」の代表者交替に係る要件の追加について

- 「データベース」における交付内定後の代表者交替について、新たに代表者となることができる者の条件として「当該データベースの作成組織に属し、計画調書に作成分担者として記載されている者（又は、作成組織が学術団体等である場合、任期の終了等に基づき新たに当該団体の代表者となる者）」を追加しました。（公募要領「Ⅱ. 公募の内容 2. 各種目の内容 ④データベース (5) その他の留意点」参照）